

厚小だより

【校訓】
強く 正しく 美しく

【教育目標】
○たくましい子（体）
○自ら考える子（知）
○心豊かな子（徳）

厚岸町立厚岸小学校 平成 29年3月 14日
厚岸町梅香 2丁目3番地 52-3016

～学力・心力・体力のバランスのとれた子どもの育成～

特別版

第3回生活リズムチェックシートより

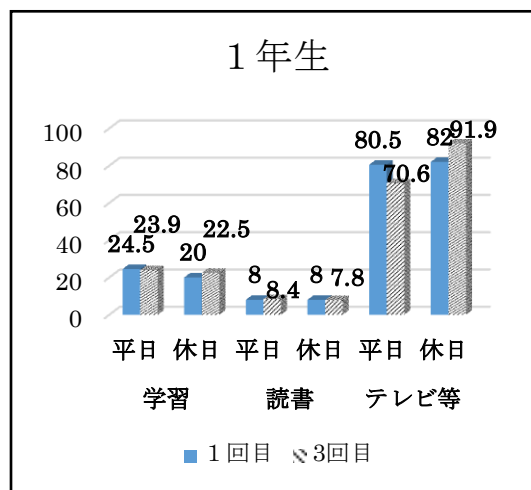
今回も、生活リズムチェックシートの取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。続けること、そして振り返りを生かすことで、「意識する」ことから「これが当たり前のこと」というように生活の一部になってきた項目や、「一段階レベルアップしている」と感じる項目が出てきました。

その反面、今回は「テレビ・ゲーム・インターネットの時間の増加」という大きな課題が見えてきました。今回の実施は冬場であるということも要因の一つにはなっていると思います。

しかし、春休みも目前に迫っていますし、この考察をきっかけに、今一度ご家族で「テレビ・ゲーム・インターネットの使用」に関わって話し合う機会を持っていただけたらと思います。

尚、前回同様、「学習」「読書」「テレビ・ゲーム・インターネット」の考察はこちらのお便りで、「早寝・早起き・朝ごはん」の考察については保健だよりでのお知らせとなります。

?1年生の結果から



◇目標設定は、概ね学年に見合った時間になっていました。しかし、数名ではありますが目標と少しかけ離れた時間設定になっている児童もいたので、再度学年に合った目標時間について話し合ってみるとよいかもしれません。

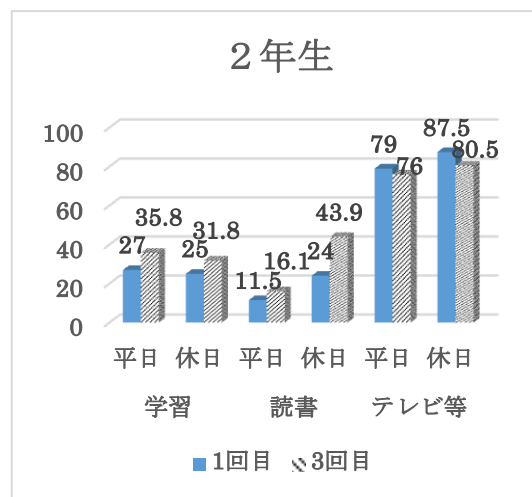
◇学習時間は、目標の「20分」を概ね達成しています。前回とほぼ同様の数字であることから、20分という学習時間が定着しているといえます。

◇読書についても、前回とほぼ同様の数値になっていることから、毎日読書することが習慣づいている



学校でも、1年生は継続的に図書室を利用している児童が多いので、これからも、色々な本を読んでほしいですね。
◇テレビ・ゲームなどは、平日に比べ休日が若干増えていますが、多すぎるわけではないので、これを継続していけると良いですね。

◇2年生の結果から



◇目標設定については、ある程度学年に見合った目標を設定することができるようになってきています。

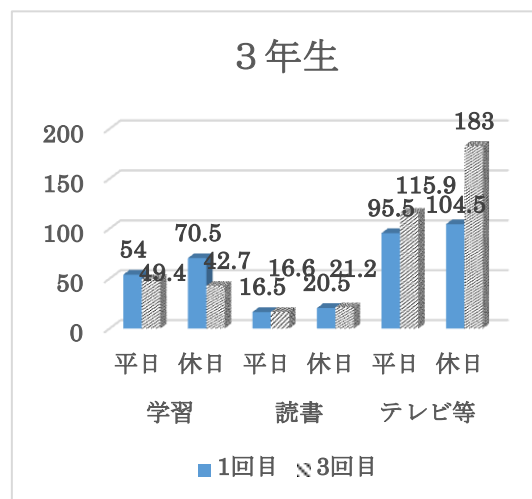
◇学習時間については、前は20分が多かったのに対し、今回は「学年+10分」を意識し、30分以上学習する児童が増えました。

◇読書量は元々多い学年ですが、平日に全員が読書時間を位置付けています。また、休日にじっくり時間を取って読書する児童も増えました。

◇テレビ・ゲーム・インターネットに関しては、前回は適切な時間でしたが、より減っています。学習・読書が増えて、テレビなどの時間が減っているとい

うことは、理想的な生活リズムへと改善が図られているということがいえると思います。

◇3年生の結果から



◇目標設定については、前回、休日のテレビの時間を長くしてしまった児童が若干いましたが、今回は概ね実態に合った目標設定に改善されていました。

◇学習時間については、概ね目標の40分を超えています。グラフから見ると学習時間が減ってはいますが、前はやる子はやる、やらない子はやらないというアンバランスさが目立っていました。

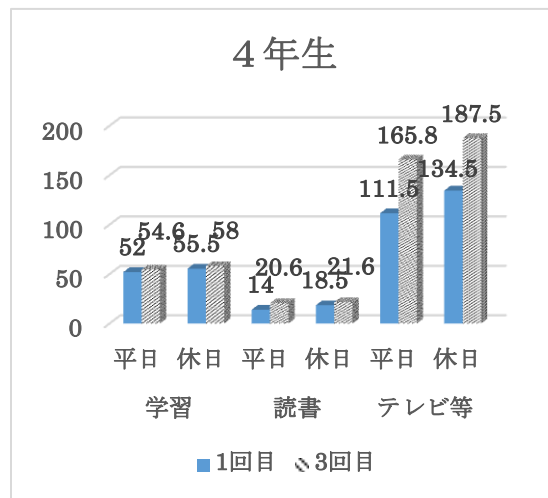
しかし今回は、40分に到達していない児童が2名程度で、それ以外は40分以上学習時間を確保して

いるので、内容的には1回目の課題を改善し、学級全体の家庭学習への意識が高まっているということがいえるでしょう。

◇読書時間については、1回目とほぼ同じ数値を保っていることから、毎日の生活の中に読書が位置づいている、ということがいえます。図書室利用率も少しずつ上がってきています。

◇テレビ・ゲーム・インターネットについては、全体としてはある程度平均的な時間を保っています。しかし、グラフからは、1回目に比べ、特に土日の時間が大幅に増えてしまっています。原因としては、一人一人のテレビの時間が少し増えていること、一部の児童のゲーム時間、インターネット時間がかなり多いことが考えられます。特にゲームの時間をしっかり守れるように改善できると良いですね。

◆4年生の結果から

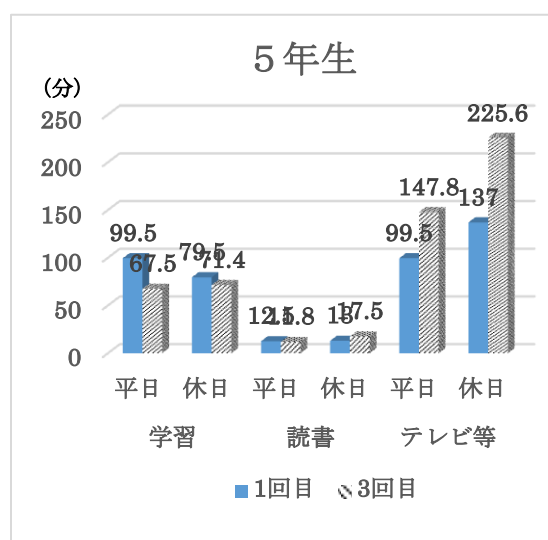


◇学習時間については、目標の50分を概ね達成しており、1回目の結果を少し上回っています。1回目の結果では、一人一人の学習時間が50分を超えているのが5割弱だったことに対し、今回は8割の児童が50分を上回っています。このことから、一人一人が目標時間を意識して取り組んでいるということがいえます。

◇読書についても、前回より時間が増えました。8割程度の児童が読書する時間をしっかり位置付けています。さらに、一人一人の読書量が少しずつ増えていることがこの結果に結び付いていると考えら

れます。図書室の利用についてはかたよがりがあるので、多くの児童の利用を期待しています。
◇テレビ・ゲーム・インターネットの時間はかなり増えています。内訳は、一番多いのがテレビで、平日にテレビを3～4時間も見ている人が何人かいます。また、それぞれの時間は少しずつでも3つ合わせるとトータルで6～7時間になってしまう児童が3割程度います。休日はゲームだけで5～7時間という児童も1割程度いますので、ゲーム時間が長すぎる人は早急に改善しましょう。

◆5年生の結果から



◇学習時間は1回目に比べて減っていますが、全体の平均も一人一人の学習時間も目標時間の60分を超えています。1回目の実施の時には、出されている宿題がなかなか終わらずに時間がかかっているという児童もいたようですが、今回は学年の終盤でもあり、内容は充実させたままで効率よく行えるようになってきているのではないかと考えられます。

◇読書時間は、少しずつでも毎日読もうという意識は継続されているようです。図書室の利用率はなかなか上がらず、「家に持ち帰ってよむことができない」ということが原因の一つになって

いるようです。高学年については、新学期からの「家への持ち帰り」を可能かどうか検討していきたいと考えています。

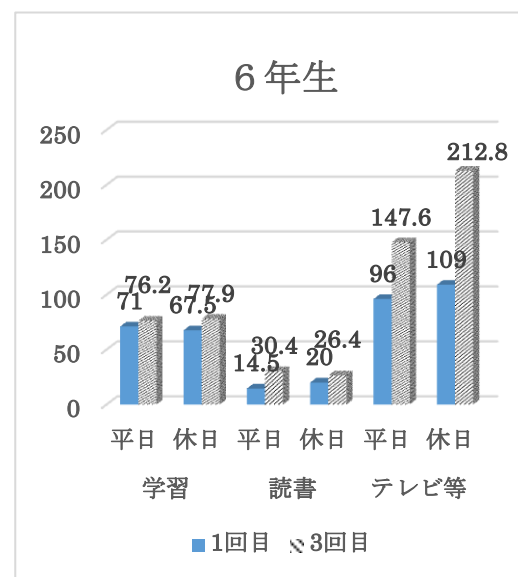
◇テレビ・ゲーム・インターネットの時間は、1回目よりも大幅に長くなっています。全体の平

均は平日で約2時間30分程度、休日は3時間40分程度です。内訳として、テレビは全員見ており、1～2時間程度が多いです。中には平日に4時間という児童もいます。

また、ゲームは9人程度、インターネットは3人程度の利用となっています。(但し、あくまでも児童の記入だけをもとにしていますので、日常的な会話等も参考にすると、インターネットの利用は実際もう少し多いのではないかと考えられます。)

問題は休日の利用時間で、テレビ4時間、ゲーム3時間計7時間を費やしているなど、クラスの3割程度の児童に休日のテレビ、ゲーム、インターネットの使用に大きな課題が見られます。「トータルで～時間以内に収めるために、1つ1つの項目をどれくらいにしていけばよいか」という視点に立って目標をもう一度見なおす必要があります。

◆6年生の結果から



◇1回目に比べ、学習時間が全体的に増えています。平日で5分休日で10分増えており、中学校に向けての意欲を感じます。

◇読書についても、読む時間が増えています。今までも読書を意識して取り組む児童が多かった学年ではありましたが、一人一人の読書量が増えたことで、全体の読書量増加につながっています。

◇テレビ・ゲーム・インターネットは、4、5年生同様時間が長くなっています。内訳はテレビが多く、時間は1～2時間程度がほとんどです。しかし、中には平日にテレビだけで4時間半から5時間見ている、という児童もいます。

◇平日にゲームをしている児童は7名程度です。時間を守って行っている児童も多い中、平日に3時間と多い児童もいます。

◇インターネットをしている児童も7名程度です。ゲームをしている児童とはあまりかぶってはいませんが、テレビとゲームを合わせて6時間以上という児童もいます。また、この内容はあくまで「生活リズムチェックシート」に記入している数字上の結果です。日常的にLINEなどを行っている児童も多いことから、実際の数字はもっと多いことが考えられるので、LINEを含めたインターネットの使用などについて、もう少し見なおす必要がありそうです。

どの学年も「学習」「読書」については、全体的に改善が図られる結果となりました。

しかし、冒頭でも述べたように大きな課題は「テレビ・ゲーム・インターネット」の利用時間です。「利用の仕方」も含めて、今一度家庭で話し合い、よりより利用の仕方を目指していけると良いですね。

